

こたえ

- ドリルやテストがおわったら、うしろの「がんばりひょう」にシールをはりましょう。
- まちがえたら、かならずやりなおしましょう。「かんが かた考え方」もよみなおしましょう。



>1. | 10までの かず 1 ページ

①

②

③

④

①

②

③

④

⑤

考え方 ① もの(絵)を指で押えながら、「いち、に、さん、…」と声に出して読み、ものと同じ数だけ○に色をぬらせます。○をぬるとき、どんな色を使うのかは自由です。同じ数だけぬってあれば、どのようなぬり方でも正解ですが、横にぬっていくのがよいでしょう。

>2. | 10までの かず 2 ページ

①

②

③

④

⑤

考え方 ① ものの数が数字で表せることを、具体物(もの)・半具体物(ブロック図)と数字を対応することで確認させます。

② 具体物の個数を数字で表します。数えまちがいのないように気をつけます。

>3. | 10までの かず 3 ページ

①

②

③

④

①

②

③

④

⑤

考え方 ② 7、8、9や10の0の書き方に注意させます。

>4. | 10までの かず 4 ページ

①

②

③

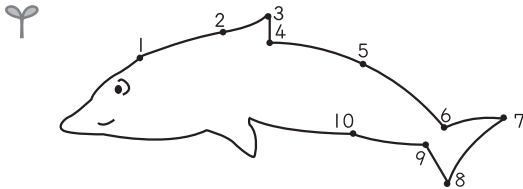
④

考え方 ② ものの数が多くなってきました。2度数えたり、数えもれないように気をつけます。

③ 0の書き方に気をつけます。0は、1つもないことを表す数字です。1つもなくとも、数字で表せることを理解させます。

➤5. 1 10までの かず 5 ページ

① ② (○) () () (○)



5 6 7 8 9 10

考え方 0から10までの数の順番を、しっかり覚えさせます。数は小さい数から順に1ずつ大きくなっています。0~10までの数をしっかり書けるようにさせます。

➤6. 1 10までの かず 6 ページ

①

②

③ ① ② () (○) (○) ()

考え方 ② 10から順に1ずつ小さくなっています。大→小と数が並んでいても、しっかり書いて唱えられるようにします。

おうちの かたへ 1~10までの数の読み書きや大小比較などについては、身のまわりのものを通して慣れさせるようにしましょう。

➤7. 2 いくつと いくつ 7 ページ

① ①

5
2 3

 ②

5
1 4

③

6
2 4

 ④

6
5 1

② ①2 ②4
③ ①1と5 ②3と3
④ ①4 ②2

考え方 数の分解や合成について学習します。いろいろな組み合わせがあることを理解させます。

➤8. 2 いくつと いくつ 8 ページ

① ①

8
4 4

 ②

8
3 5

② ①

9
2 7

 ②

9
5 4

③ ①6 ②1 ③8 ④3
④ (じゅんに)①5、3 ②4、5

考え方 8と9の数の分解、合成です。
③ 数字だけでわかりにくい場合は、④のように、おはじきなどを用いて理解させます。

➤9. 2 いくつと いくつ 9 ページ

① ①1 ②3
③(じゅんに)4、6
② ①

10
5 5

 ②

10
8 2

③ ①

10
3 7

 ④

10
6 4

③ ① ② ③

考え方 ①、② たし算には、合併(「あわせて」「ぜんぶで」「みんなで」、増加(「ふえると」)の2つの意味があります。ここでは、増加について学習します。「ふえると いくつ」という考え方をもとに式を立てられるようにします。

15. 4 あわせて いくつ ふえると いくつ 15 ページ

- ① しき $4+3=7$ こたえ ⑦わ
 ② しき $6+2=8$ こたえ ⑧ばん
 ③ ①9 ②7 ③6
 ④7 ⑤6 ⑥8

考え方 ①、② 「くると」「もらうと」も増加の意味であることをつかませます。

16. 4 あわせて いくつ ふえると いくつ 16 ページ

- ① (じゅんに)6、4、あわせて(ぜんぶで)
 ② ①10 ②10 ③10 ④10
 ⑤10 ⑥10 ⑦10

考え方 すべて、たして10になる計算です。くり上がりのある計算の基礎になります。

17. 4 あわせて いくつ ふえると いくつ 17 ページ

- ①

おもて	$2+6$	→	うら	10
	$7+2$	→	8	8
	$3+4$	→	7	7
	$9+1$	→	9	9

 ②

①	$5+5$	→	$3+4$
②	$2+7$	→	$6+4$
③	$6+1$	→	$1+8$

 ③ ①3 ②1 ③2

考え方 たし算カードを使うことで、たし算の習熟を図ります。式を見て答えをいう(書く)、答えを見て式をいう(書く)など、いろいろな練習方法があります。

- ② 同じ答えになるたし算は、1つだけではないことに気づかせます。

18. 4 あわせて いくつ ふえると いくつ 18 ページ

- ① ① $3+1=4$
 ② $3+0=3$
 ③ $0+0=0$
 ② ①5 ②9
 ③3 ④6
 ⑤8 ⑥7
 ⑦0 ⑧1

考え方 0は1つもないことを表し、たしても数は増えないことを理解させます。

19. 4 あわせて いくつ ふえると いくつ 19 ページ

- ① しき $4+5=9$ こたえ ⑨だい
 ② しき $3+0=3$ こたえ ③つ
 ③ ①5 ②2
 ③6 ④4
 ⑤1 ⑥4

考え方 ①、② 式を書くときは、たされる数とたす数の違いを意識させ、答えには必ず単位をつけることを忘れないように注意させます。

- ③ 答えが7になるたし算は、いくつもあることを理解させます。

ポイント たし算の文章題では、「あわせて」「くると」などのキーワードが必ず含まれています。それに気づくことが大切であることを教えてあげてください。

20. 5 のこりは いくつ ちがいは 20 ページ

- ① しき $5-1=4$ こたえ ④こ
 ② しき $3-1=2$ こたえ ②ひき
 ③ ①1 ②2
 ③1 ④3

考え方 ひき算の学習です。「のこりは いくつ」はひき算の求残にあたり、ひき算の式に表せることを理解させます。同時に、-(ひく)の記号の読み方、書き方を理解させます。また、ひき算では、大きい数から小さい数をひくということを、よく理解させてください。

26. 5 のこりは いくつ ちがいは いくつ 26 ページ

- ① ① (じゅんに)7、3、のこり
 ② (じゅんに)7、3、りんご、みかん
- ② しき $8-5=3$ ことえ $③$ まい

考え方 ① ②2種類が混じっている絵から、それぞれの数を数え、りんごとみかんのどちらが多いかに注意して問題をつくります。

- ② ケーキの絵が先に出ていますが、「 $5-8$ 」と書かないように注意させましょう。

27. 5 のこりは いくつ ちがいは いくつ 27 ページ

- ①
- | | | | | |
|---|--------|------------|------------|---|
| ① | $9-4$ | \swarrow | \searrow | 3 |
| ② | $5-2$ | \swarrow | \searrow | 5 |
| ③ | $10-8$ | \swarrow | \searrow | 1 |
| ④ | $6-5$ | \swarrow | \searrow | 2 |
- ②
- | | | | | |
|---|-------|------------|------------|--------|
| ① | $4-2$ | \swarrow | \searrow | $2-1$ |
| ② | $9-8$ | \swarrow | \searrow | $6-2$ |
| ③ | $7-3$ | \swarrow | \searrow | $10-8$ |
- ③ ①3 ②1 ③4

考え方 ① たし算カードと同様に、ひき算の基礎練習として、ひき算カードを有効に利用しましょう。

- ② それぞれ、カードの横に答えを書いておくと、やりやすくなります。
- ③ 答えが5になるひき算はいく通りもあります。「 $10-5$ 」、「 $9-4$ 」、「 $8-3$ 」、…と順に唱えさせてみましょう。

28. 5 のこりは いくつ ちがいは いくつ 28 ページ

- ① ①2 ②4
 ③1 ④6
 ⑤0 ⑥8
- ② しき $7-5=2$ ことえ 2 ひき
- ③ しき $9-8=1$ ことえ えんぴつが 1 ぼん おおい。









考え方 ② 全体から部分を求める求部分(求補)というひき算にあたります。この場合もひき算を使って答えを求めますが、これまでと違って、「のこりは いくつ」のような言葉が見当たらないので、少しとまどうかもしれません。おはじきなどを使って、全体からどの部分をひくかということを理解させます。

- ③ 違いを出すためにひき算を用います。ひき算をどんな場合に用いるのか、ここでもう一度確認しておきましょう。答えは、きほんのドリルで学習したように、「どちら」が「いくつ」多いという2つの要素をもらさず答えられるようにします。

ポイント たし算のときと同様に、文章題の答えには、単位を忘れずにつけることを確認させましょう。

また、③のような求差の問題は、子どもにとって「ひく」というイメージに結びつきにくいので、ひき算の式を立てにくいようです。このような場合は、おはじきやブロックなどを用いてイメージをつかませ、ひき算の式に表して答えが求められるようにしてあげましょう。

29. 10までの かず/いくつと いくつ 29 ページ

- ★ ①   ②  
- (○) () (○) ()
- ③   ④  
- () (○) (○) ()
- ★ ①

7
5 2

 ②

5
1 4

 ③



6
3 3
- ④

8
2 6

 ⑤

6
2 4

 ⑥

8
5 3
- ★ ① まえ  うしろ
- ② まえ  うしろ

35. 7 10より おおきい かずを かぞえよう 35 ページ

- 1 ① (じゅんに)4、14、10
 ② 12 ③ 17
 ④ 10 ⑤ 10
- 2 ① 13 ② 10
 ③ 15 ④ 10
 ⑤ 19 ⑥ 10

考え方 10といくつのたし算と、十いくつからいくつをひいて10になるひき算の計算です。

2 「十いくつ」が10と端数であることを、たし算、ひき算で確認させます。

36. 7 10より おおきい かずを かぞえよう 36 ページ

- 1 しき $11 + 4 = 15$ こたえ 15こ
- 2 しき $16 - 3 = 13$ こたえ 13こ
- 3 ① 16 ② 18
 ③ 18 ④ 14
 ⑤ 11 ⑥ 13

考え方 十いくつといくつのたし算は、たされる数を10といくつに分けて、一の位の数どうしのたし算を先にします。

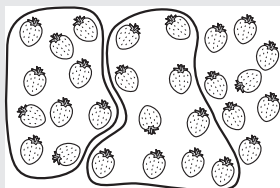
十いくつといくつのひき算は、ひかれる数を10といくつに分けて、一の位の数どうしのひき算を先にします。

37. 7 10より おおきい かずを かぞえよう 37 ページ

- 1 ① 27 ② 30
- 2 (じゅんに)2、8、28

考え方 2 たくさんあるときは、10ずつまとめると数えやすくなります。

まず、10個ずつ線で囲み、10のまとまりの数とばらの数を数えさせます。



38. 7 10より おおきい かずを かぞえよう 38 ページ

- 1 ① 19 ② 24
- 2 ① $11 + 13$ ② $15 + 12$
 () (○) (○) ()
- 3 0 2 5 7 10 13 15 17 20
- 4 ① 16 ② 18
 ③ 19 ④ 10
 ⑤ 13 ⑥ 14

考え方 十進法の原理の基本的な理解ができているかを確認しましょう。

2 数の大きさ比べです。

3 数直線を見ながら、□にあてはまる数を見つけていきます。

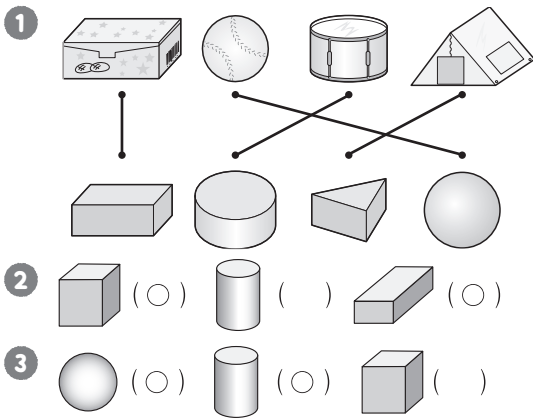
おうちの **かたへ** 10以上20未満の数が、すべて「10といくつ」という構成になっていることを理解しておく、20以上の大きな数を学習するとき、容易に移行することができます。しっかり理解させましょう。

39. 8 なんじ なんじはん 39 ページ

- 1 ① 4じ ② 4じはん ③ 5じ
- 2 ① ② ③ ④
- 3 あ (○) い ()

考え方 「～時」と「～時半」の時計が読めるようになることが目標です。短針が「時」を表すことを理解し、長針が「～時」のとき12、「～時半」のとき6を指すことを確認させましょう。

40. 9 かたちあそび 40 ページ

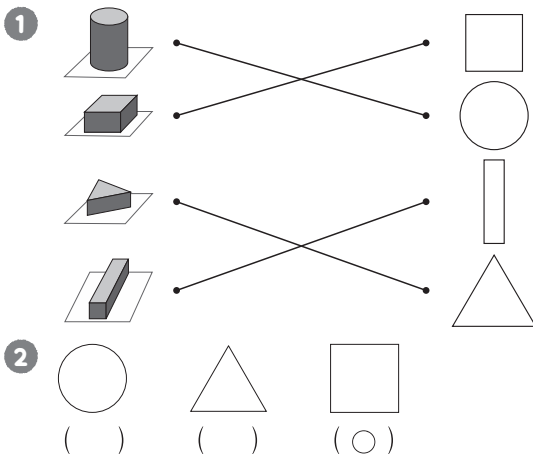


考え方 ① 身のまわりのいろいろな物の形を観察し、立体図形の特徴などを学習します。立体図形の典型的な形(直方体、三角柱、円柱、球)を覚えられるようにします。

② 立体図形の特徴を、経験から予想して答えられるようにします。

③ 立体図形の特徴を、視覚的に判断できるようにします。

41. 9 かたちあそび 41 ページ



考え方 それぞれの立体を、上、下、横から見るとどんな形になるかを観察させます。

42. 10 たし算 ひいたり してみよう 42 ページ

- ① しき $6+4+3=13$ ことえ 13 びき
 ② しき $8-2-4=2$ ことえ 2 こ
 ③ ① 15 ② 16
 ③ 3 ④ 8

考え方 ① 2回増加するものについては、1回目のたし算の答え(和)に、2回目のたし算をすることを理解させましょう。

② 2回減少するものについては、1回目のひき算の答え(差)に、2回目のひき算をすることを理解させましょう。

③ 3つの数のたし算とひき算の練習です。左から順に計算していけばよいことを確認します。

43. 10 たし算 ひいたり してみよう 43 ページ

- ① しき $8+2-4=6$ ことえ 6 びき
 ② しき $8-4+3=7$ ことえ 7 まい
 ③ ① 8 ② 8
 ③ 13 ④ 4
 ⑤ 12 ⑥ 15

考え方 ① 3つの数の計算で、たし算の後にひき算という計算です。問題に合わせて順序よく計算します。

② 3つの数の計算で、ひき算の後にたし算という計算です。

③ 3つの数のたし算、ひき算の混じった計算です。たし算とひき算が混在していても左から順に計算していきましょう。

44. 11 たしざん 44 ページ

- ① (じゅんに)1、2、12 ことえ 12 こ
 ② ① 2 ② 2
 ③ 2 ④ (じゅんに)2、12
 ③ ① 11 ② 11

考え方 くり上がりのあるたし算です。10をつくるのがポイントになります。10をつくる時は、まず、9と1、8と2、7と3、6と4、5と5の場合が確実にできるようにします。

45. 11 たしざん

45 ページ

- ① (じゅんに) 1、3、13 ことえ 13こ
 ② ①2 ②1
 ③2 ④(じゅんに) 1、11
 ③ ①12 ②13

考え方 たされる数がたす数より小さい場合、たす数で10をつくった方が考えやすいときがあります。
 たされる数で10をつくるか、たす数で10をつくるかは、考えやすい方でして、計算が正しくできるようにします。

46. 11 たしざん

46 ページ

- ① (じゅんに) ①3、3 ②4、3
 ② ①16 ②15
 ③15 ④16
 ⑤14 ⑥17

考え方 いろいろな考え方で10をつくりま
 す。教科書には、次の3つの方法がのっ
 ています。
 ・たされる数で10をつくる。
 ・たす数で10をつくる。
 ・両方の数から5ずつとって10をつくる。
 どの考え方もよいですが、自分の計算し
 やすい方法が選べるようにします。

47. 11 たしざん

47 ページ

- ① しき 8+5=13 ことえ 13人
 ② しき 9+7=16 ことえ 16こ
 ③ しき 3+8=11 ことえ 11わ
 ④ ①12 ②17
 ③12 ④14

考え方 ①は「みんなで」、②は「ぜんぶで」、
 ③は「あわせて」ということから、たし算
 となります。式の書き方と答えの書き方を
 確認しておきます。

48. 11 たしざん

48 ページ

- ①

6+9
15

5+9
/
13

8+8
/
16

7+6
/
14

 ② ①14 ②11
 ③12 ④14
 ⑤16 ⑥13
 ③ (じゅんに) 5、4

考え方 ① 上のカードを先に計算し、そ
 の答えと同じ数を書いてある下のカード
 を線で結んでいきます。
 ② カードに書いてある式を計算し、そ
 の裏に答えを書いていきます。
 ①、④からは、たす数とたされる数を入
 れかえても答えは同じだとわかります。
 ③ たされる数が1増えると、たす数が
 1減ることにふれるとよいでしょう。

49. 11 たしざん

49 ページ

- ① ①11 ②12
 ③12 ④14
 ⑤15 ⑥18
 ② しき 9+7=16 ことえ 16本
 ③ しき 7+5=12 ことえ 12だい
 ④ ① 7+5 6+9 ② 5+8 9+2
 () () () ()

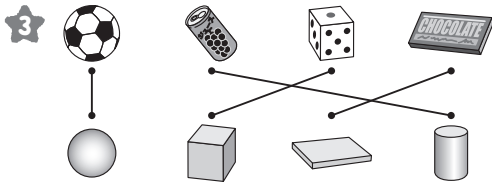
考え方 ②、③ 「あわせて」「ぜんぶで」の
 問いに注意を払わせましょう。

ポイント くり上がりのあるたし算が確実にで
 けるようにしておきましょう。そのために、
 カードの利用などのゲームの要素を取り入
 れるのも理解を深める1つの方法です。

60. 10より おおきい かずを かぞえよう
なんじ なんじはん／かたちあそび 60 ページ

- 1 ① 11 ② 17
③ 19 ④ 17
⑤ 10 ⑥ 14
⑦ 13 ⑧ 12

- 2 ① 8じ
② 7じはん(7じ 30ぷん)
③ 5じはん(5じ 30ぷん)



考え方 1 10といくつという構成に着目したたし算とひき算です。

3 球、円柱、立方体、直方体の形を、具体的なものと照らし合わせて学習します。

61. たしざん／ひきざん／くらべてみよう 61 ページ

- 1 ① 11 ② 12 ③ 13
④ 14 ⑤ 8 ⑥ 8
⑦ 7 ⑧ 9

- 2 しき $16-9=7$
こたえ あきらさんが 7かい おおくとんだ。

- 3 あ
4 あ

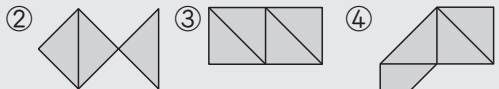
考え方 4 単なる長方形ではなく、このような複雑な図形であっても、□の数を数えて、広さの違いを見つけさせましょう。

考え方の 3 2つのものの長さを比べるときには、一方の端をそろえるようにします。また、2つのものが重ねられないときは、ものさし、テープなどに写しとって長さを比べます。このように、単に見比べるのではなく、数に置きかえるなどした方が正確であることを理解させます。mm、cm、mといった長さの単位の学習に入る前の土台作りです。

62. 14 かたちを つくろう 62 ページ

- 1 ① 2 ② 3
③ 4 ④ 4
- 2 ① あ → い
(① ② ③ ④ ⑤)
でも よいです。
- ② あ → い ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

考え方 1 色板の並べ方の一例



2 実際に色板を使って動かしてみると、わかりやすいでしょう。

63. 14 かたちを つくろう 63 ページ

- 1 ① 4 ② 5 ③ 5
④ 14 ⑤ 15
- 2 ①
②
③
④

考え方 1 ④、⑤のように、棒の数が多くなると数えまちがうことがあるので、数えるときに、棒|つ|つに数えた印をつけさせましょう。

64. 15 おお 大きい かずを かぞえよう 64 ページ

- ① ①(じゅんに)2、6、26
②(じゅんに)3、0、30
- ② ①(じゅんに)2、5
②(じゅんに)3、8

考え方 ① 十の位、一の位という用語を覚えます。箱のへやには十の位の数を、ばらのへやには一の位の数を書きこませます。十の位は10の集まりを、一の位は1の集まりを表しています。

② それぞれの数字が何の位を表しているのかを理解させます。

65. 15 大きい かずを かぞえよう 65 ページ

- ① ①

4	3
---	---

 ②

5	0
---	---
- ② ①97 ②80 ③7
④(じゅんに)4、9
- ③ ①20 ②(じゅんに)5、0

考え方 ① 十の位は左、一の位は右という位置関係をしっかり確認させます。一の位に1つもなときは、0と書きます。

② 十の位、一の位の数から全体の数を求めたり、全体の数の十の位、一の位がそれぞれいくつからできているかを考えます。

③ ①「十のくらいが2」というのは、「10の集まりが2こ」です。表現に気をつけて、2けたの数を正しく書けるようにしましょう。

66. 15 大きい かずを かぞえよう 66 ページ

- ① 100
- ② ①100
②100
- ③ ①

51	52	53	54	55
----	----	----	----	----

②

90	89	88	87	86
----	----	----	----	----

③100
④70

考え方 10が10こで100になることを、

- ①、②を通して理解させます。
③ ③のように10を単位にしている場合は、たとえば、70、80、90、…のように10とびに数を考えます。
④はたし算、ひき算の考え方で答えを出してもよいのですが、100までの数の計算は未習です。ここでは、100、90、…と10とびの数を順に書かせて、100より30小さい数を見つけさせるのが適切です。

67. 15 大きい かずを かぞえよう 67 ページ

- ①

1	1	3
---	---	---
- ② ①

1	2	0
---	---	---

 ②

1	0	4
---	---	---
- ③

1	1	1
---	---	---

 ④

1	1	8
---	---	---

考え方 100より大きい数の存在は、日常生活の中で、すでに知っていることでしょう。100より大きい数については、120くらいまでの数を扱います。ここでは、そのような数に関心をもたせるとともに、値段などの身近なものが読めるようになることが目標です。

68. 15 大きい かずを かぞえよう 68 ページ

- ① (じゅんに)3、4、7、70、70
- ② しき

50	+	10	=	60
----	---	----	---	----

 こたえ

60

 こ
- ③ ①80 ②70
③80 ④100

考え方 (何十)+(何十)の計算です。

- ① 10のまとまりで考えると、3+4=7になり、70だとわかります。このような計算は、十円玉で考えれば、(十円玉が)3+4=7(個)より、十円玉が7個分で70円と考えることができ、1けたの数どうしのたし算で解決できます。このように日常によく出てくる範囲内での計算が、ここで扱われています。
- ② 「合わせていくつ」の考え方で、たし算の式を立て、答えを出します。

69. 15 おお 大きい かずを かぞえよう 69 ページ

- ① ① |
 ② (じゅんに) |, 8
 ③ (じゅんに) 8, 28
 ④ 28
- ② しき $32+6=38$ こたえ 38 ぴき
- ③ ① 29 ② 47
 ③ 86 ④ 69

考え方 一の位の数どうしを計算します。
 ① 何十いくつといくつのたし算を通して、2けたの数のしくみがわかるようにします。

70. 15 おお 大きい かずを かぞえよう 70 ページ

- ① (じゅんに) 5, 2, 3, 30, 30
- ② しき $40-10=30$ こたえ 30 まい
- ③ ① 10 ② 20
 ③ 30 ④ 90

考え方 (何十)-(何十)の計算です。10がいくつになるかを考えます。①では、10の束が5つあり、2つとるので、残りは3つで、30となります。

71. 15 おお 大きい かずを かぞえよう 71 ページ

- ① ① 6
 ② (じゅんに) 6, 2
 ③ (じゅんに) 2, 22
 ④ 22
- ② しき $29-7=22$ こたえ 22 ほん 本
- ③ ① 34 ② 72
 ③ 52 ④ 92

考え方 一の位の数どうしを計算します。
 ① 何十いくつといくつのひき算を通して、2けたの数のしくみを理解させます。

72. 15 おお 大きい かずを かぞえよう 72 ページ

- ① 84
- ② ① (じゅんに) 8, 2 ② 3
 ③ 81 ④ 40
- ③ しき $7+22=29$ こたえ 29 こ

- ④ ① 90 ② 30
 ③ 78 ④ 60

おうちのかたへ 100までの大きな数の順序、構成をきちんと整理しておきます。数が大きいので、じっくりと取り組ませましょう。


73. 16 なんじなんぷん 73 ページ


- ① (じゅんに) 10, 35
- ② ① 8じ 30 ぷん (8じはん)
 ② 5じ 15 ふん
 ③ 7じ 35 ふん
 ④ 1じ 43 ぷん


考え方 長針がさす時計の数字の1が5分、2が10分、…を表していることを理解させ、何分の目もりが読めるようにします。


74. 16 なんじなんぷん 74 ページ

①






 ①


 ②


 ③


 ④

②

9じ25ふん

2じ30ふん

11じ

4じ52ふん

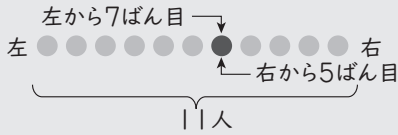
考え方 ① 長いはりをかいて、時刻を表します。長いはりが小さい目もりを正確にさせるようにします。

75. 17 たすのかな ひくのかな 75 ページ
 ずに かいて かんがえよう

- ① (じゅんに) 4, 8
 しき $4+8=12$ こたえ 12 ひき
- ② しき $7+5-1=11$ こたえ 11 にん 人
- ③ (じゅんに) 15, 8
 しき $15-8=7$ こたえ 7 こ

考え方 ① まず、前から、後ろからと指示された位置を図でしっかり確認させます。その後の順番においても、図をよく見て、しるしをつけて考えさせます。

② 次のような図をかいて考えさせます。



76. 17 たすのかな ひくのかな
ずにかいて かんがえよう **76**
ページ

① うま ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
うし ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
しき $8+5=13$
こたえ 13 とう

② 赤 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
白 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
しき $12-4=8$

③ $2+2+2+2=8$
こたえ 8 こ
こたえ 2 こ

考え方 ③ まず、同じ4つの数のたし算をします。この計算は、1つ分の数が2こで、それが4つ分あると考えます。

77. 18 かずしらべ **77**
ページ

① ①ねこ 6
ぶた(じゅんに)6、5、5
いぬ(じゅんに)5、9、9
うさぎ(じゅんに)9、7、7

②みぎ
③4まい

シールの		かず	
		○	
		○	
		○	○
○		○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
ねこ	ぶた	いぬ	うさぎ

78. なんばんめかな / 10より おおきい
かずを かぞえよう / かたちあそび **78**
ページ

① まえ うしろ

② まえ うしろ

☆ しき $13+2=15$

こたえ 15 人

☆ しき $15-4=11$

こたえ 11 まい

☆ ①6

②2

考え方 ☆ 身近な物で、円柱と直方体の違いを学習します。機関車が、どんな形の立体図形から構成されているか理解し、その数を確認させます。

79. たしたり ひいたり してみよう
たしざん / ひきざん / くらべてみよう **79**
ページ

☆ ①14 ②12
③6 ④3
⑤14 ⑥2

☆ しき $6+2-3=5$

こたえ 5 わ

☆ $8+8$ $6+7$ $9+5$ $4+6$ $8+5$

() (○) () () (○)

☆ い

ポイント これまで学習してきた、たし算・ひき算の問題を取り上げています。たし算・ひき算は大切なので、まちがえたところがあれば、理解できるように、きほんのドリルを含めてもう一度復習させておきましょう。3つの数のたし算やひき算では、計算のしかたとして、たとえば、☆⑥は、 $10-5=5$ 、 $5-3=2$ というように2式に分けて考えてもいいです。

80. 大きい かずを かぞえよう / なんじなんぶん
たすのかな ひくのかな ずにかいて かんがえよう **80**
ページ

☆ ①90 ②50
③49 ④72

☆ ①9じ 30ふん(9じはん)
②3じ 50ふん
③1じ 17ふん

☆ しき $11-6=5$

こたえ 5 人

考え方 ☆ 「前から6番目までの人数は6人」と考えて、 $11-6$ (人)と立式します。